



NEWS RELEASE

2016年11月18日

Vescent Photonics 社からレーザ・ビーム・ステアリング技術を買収 ～オートモーティブ用 LIDAR システムの採用を促進～

アナログ・デバイセズ株式会社

[アナログ・デバイセズ社](#) (NASDAQ: ADI) は本日、コロラド州ゴールデンの株式非公開企業 Vescent Photonics, Inc. から、固体レーザ・ビーム・ステアリング技術を買収することを発表しました。Vescent Photonics 社の革新的な非機械的ビーム・ステアリング技術により、今日の大型機械製品の信頼性、サイズ、コストといった課題の多くを克服する、より堅牢な集積 LIDAR¹ システムを実現します。過去 20 年にわたって自動車の安全性向上に貢献してきたアナログ・デバイセズは、今回の買収により、次世代の ADAS や自動運転に向けたオートモーティブ用安全システム技術の主要プレーヤとして、さらにその地位を強化します。

アナログ・デバイセズのオートモーティブ・セーフティー担当ゼネラル・マネージャーであるクリス・ジェイコブス (Chris Jacobs) は、次のように述べています。「エアバッグや電子安定制御アプリケーションに使用される慣性 MEMS センサー² から、24 GHz および 77 GHz の車載レーダーに至るまで、当社のソリューションは過去 20 年以上に渡り、安全性向上に貢献してきました。今回買収したこの革新的な技術は、LIDAR システムをよりコンパクトかつ堅牢で、全世界のあらゆる新車に導入できるような手頃な価格の機能にするために重要な役割を果たします」

現代の ADAS システムは、前方衝突警報、死角検出、歩行者検出、自動運転といった高度な安全性機能を効果的に提供するために、カメラ、レーダー、LIDAR などを含む一連のセンサー技術を活用しなければなりません。カメラは物体認識に幅広く使用され、レーダーは高周波電磁波によって距離を測定します。LIDAR はレーザ・ビームを使用して距離を測定し、物体認識も可能です。スキャニング LIDAR システムを使用すると、路上または周辺の物体を検出したり、レーダーおよびカメラ使用時に、あらかじめ判明している死角を補うことができます。

Vescent Photonics 社について

Vescent Photonics, Inc.は 2002 年設立の株式非公開企業であり、高精度レーザ制御のための電気光学機器、波長可変レーザ、電子機器の開発・製造を専門としています。詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.vescent.com/>

##

アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズは、半導体製品とソリューションを提供しています。1965 年に設立され、世界をリードする信号処理技術で「アナログとデジタル」「夢と現実」との懸け橋を担ってきました。

「[想像を超える可能性を](#)」という新たなスローガンを掲げ、イノベーションを加速し、ブレークスルーを生むソリューションをお客様と共に切り拓いていきます。 <http://www.analog.com/jp>

¹ LIDAR (*Light Imaging, Detection, And Ranging*) は、レーザ光を対象物に照射することで距離を測定する測量法です。

² アナログ・デバイセズは 1991 年に、革新的な表面マイクロマシニング技術を用いて、業界初のシングルチップの高 *g* MEMS 加速度センサーをサンプル出荷し、1993 年にはエアバッグ安全システム用に初めて量産出荷しました。

■本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先■

アナログ・デバイセズ株式会社 広報・宣伝部

電話 03-5402-8270 marcom.japan@analog.com

または

(株) プラップジャパン 担当：谷本、宮原

電話 03-4580-9109 analogdevices.pr@ml.prap.co.jp